

PRESS RELEASE

市政記者各位

FaN
Fukuoka Art Next

福岡アジア美術館では、本展を通じて南アジアの多様な文化や現代美術の魅力を広く発信してまいります。つきましては、本展覧会および関連プログラムについて広くご紹介いただきたく、広報並びに取材へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

福岡アジア美術館
令和 8 年 8 月 7 日

アジアを“旅する”美術館へ

2026 年 9 月 19 日（土）開幕

「アジア美術の歩き方 南アジア特別編 対立の先へ～光の水脈をめぐる旅」



福岡アジア美術館の所蔵品と新作・近作によってめぐる南アジア現代美術の現在地

2026 年度の福岡アジア美術館では、コレクション展のシリーズ企画として「アジア美術の歩き方」を開催しています。本シリーズでは、アジア美術に初めて触れる方にも親しみやすい形で、「東アジア」「南アジア」「東南アジア」の 3 つのエリアを旅するようにめぐりながら、それぞれの地域ならではの美術と文化の魅力をご紹介します。

シリーズ第 2 弾となる「南アジア特別編」では、インド、パキスタン、バングラデシュ、スリランカ、ネパール、ブータン、モルディブの 7 か国を紹介。今回は当館所蔵品に加え、本展のために制作された新作や近作も展示し、通常のコレクション展よりも規模を拡大した“特別編”としてお届けします。

南アジアは、北部のヒマラヤ山脈を源とする大河が人々の暮らしを支え、南部はインド洋へとひらかれた地域です。豊かな水の流れとともに、多様な民族、宗教、言語、文化が交わりながら、独自の文化圏を育んできました。18 世紀半ば以降、多くの地域がイギリスによる長い植民地支配を経験し、その後の歴史のなかで宗教対立や社会格差などさまざまな分断が生じました。そうした状況は、現在の政治や社会、人々の生活にも大きな影響を残しています。

しかしその一方で、人々はそれぞれの文化やアイデンティティを守りながら、自らの存在や価値観を粘り強く表現し続けてきました。そこには困難な現実に向き合いながらも、新たな創造を生み出してきた力と、時代を越えて受け継がれてきた豊かな文化のエネルギーを見ることができます。

本展では、国や宗教、歴史的な対立を抱えながらも、その深層を流れる地下水脈のような目に見えないつながりを見つめます。南アジアに脈々と受け継がれてきた創造の力に触れる——「光の水脈をめぐる旅」へ皆さまをご案内します。

■ 展覧会の見どころ

1. 福岡アジア美術館の南アジアの所蔵品を総合的に紹介

1999 年の開館以来、福岡アジア美術館はアジア近現代美術の収集・展示・調査・研究を継続してきました。本展ではその蓄積を活かし、南アジア 7 か国の美術を横断的に紹介します。当館所蔵品を基盤としながら、南アジア現代美術の広がりや多様性を展望します。

2. 新作・近作と所蔵品が出会う展覧会

所蔵品に加え、本展のために制作された新作や近作を展示します。長年収集してきた作品と現在進行形の表現をあわせて紹介することで、南アジア現代美術の過去・現在・未来を見渡します。

3. 「対立の先」にある文化のつながりを見つめる

南アジアは、多様な民族や宗教、言語を抱える地域です。本展では、「美術と大衆文化」「対立の先へ」「伝統と神話世界を今に生きる」の 3 つのテーマを通して、人々の暮らしや価値観に息づく創造性を紹介。分断や差異だけでは捉えることのできない南アジアの文化的豊かさに迫ります。

第1部 出会うー南アジア現代美術を代表するアーティストたち

第1部では、南アジアの現代美術を代表する8人のアーティストに焦点をあてます。当館が所蔵する2000年代前後の作品に新作・近作を加えて展示し、20年以上にわたり南アジアの現代美術を牽引してきた作家たちに出会い、そのダイナミックな創造の軌跡をたどります。

<主な出品作家>

イフティハール・ダーディー&エリザベス・ダーディー [パキスタン] 《水の底にて》2026年、作家蔵
Iftikhar Dadi & Elizabeth Dadi [Pakistan] *Subaqueous* 2026, Collection of the Artist

※本展にあわせて、ネオン管等による大きなインスタレーションを発表

ダリ・アル・マムーン [バングラデシュ] 《抹消》2012/2026年、作家蔵
Dali Al Mamoon [Bangladesh] *Elimination* 2012/2026, Collection of the Artist

アーイシャ・ハーリド [パキスタン] 《愛の庭は、限りなく緑に満ちている》2019年、作家蔵
Aisha Khalid [Pakistan] *The garden of love is green without limit* 2019, Collection of the Artist

ナリニ・マラニ [インド] (第24回福岡アジア文化賞〈芸術・文化賞〉受賞 [2013年]、第38回京都賞〈思想・芸術部門〉受賞 [2023年]) 《ハムレット・マシーン》1999-2000年、福岡アジア美術館蔵
Nalini Malani [India] (Recipient of the Arts and Culture Prize of the 24th Fukuoka Prize, 2013, and the Kyoto Prize in Arts and Philosophy, 2023), *Hamletmachine* 1999-2000, Fukuoka Asian Art Museum

ジハン・カリム [バングラデシュ] 《目-II》2018年、作家蔵
Zihan Karim [Bangladesh] *Eye-II* 2018, Collection of the Artist

第2部 ひもとくー南アジア美術をめぐる物語

第2部では、南アジア美術を特徴づける3つのテーマ「美術と大衆文化」「対立の先へ」「伝統と神話世界を今に生きる」を軸に、当館所蔵品より約100点の作品を展示。聖と俗が共存する人々の暮らしや多様な価値観が織りなす物語を通して、南アジア美術の奥行きと広がりをはもときます。

■関連イベント

本展会期中には、海外アーティストを招いたトークイベントをはじめ、音楽プログラム、ギャラリーツアー、絵本の読み聞かせなど、多角的に南アジア文化に触れるプログラムを開催します。

◆オープニングイベント

南アジアを代表する現代美術作家たち、初来福！

イフティハール・ダーディー&ダリ・アル・マムーンによるアーティスト・トーク

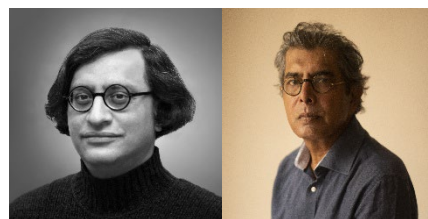
パキスタンとバングラデシュの現代美術を代表する2作家を招き
本展のために制作した新作や出品作品について語ります。

日時 | 2026年9月19日(土) 13:00-15:00

会場 | 企画ギャラリー (7階)

料金 | 要観覧料

※予約不要、日英逐次通訳付き



左：イフティハール・ダーディー
右：ダリ・アル・マムーン

本展オープニング記念／第63回福岡市民芸術祭オープニング
蓮沼執太&U-zhaan (ユザーン) スペシャル・ライブ&トーク

音楽家・アーティストの蓮沼執太とタブラ奏者 U-zhaan を迎え
本展についてのトークと演奏を行います。

"アート×南アジア"を体感できる一夜限りのプログラムです。

日時 | 2026年9月19日(土) 15:30-16:30

会場 | アートカフェ (7階)

料金 | 無料

※予約不要



左：蓮沼執太／右：U-zhaan

●アーティスト・トーク

アーイシャ・ハーリド「愛の庭は、限りなく緑に満ちている」

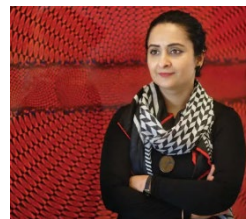
小さな細密画から布と針をつかった大型インスタレーションまでを手がけるパキスタンを代表する作家アーイシャ・ハーリド。彼女が生み出す圧倒されるような美しさの世界を、過去作から現在までの作品をとおしてたどります。

日時 | 2026 年 11 月 7 日 (土) 14:00-15:30

会場 | あじびホール (7 階)

料金 | 無料

※日英逐次通訳付き



アーイシャ・ハーリド

●学芸員の推し★ギャラリーツアー

学芸員がおすすめ作品や思わず話したくなるエピソードを交えてご紹介します。「ちょっとのぞいてみる？」くらいの気軽さで OK。初めての方も、おひとりでも、ふらっとご参加ください。

日時 | 2026 年 10 月 17 日 (土)、11 月 28 日 (土) 各日 13:00-13:40

受付 | 企画ギャラリー (7 階) 入口

料金 | 要観覧料

※予約不要



●絵本でアジアを旅しよう「スリランカの絵本の日」

スリランカの絵本『きつねのホイティ』(福音館書店、1994 年) をシンハラ語と日本語で読み聞かせます。

福岡在住のスリランカ出身者と当館ボランティアが出演します。

日時 | 2026 年 11 月 8 日 (日) ①11:30-12:00 / ②13:00-13:30

会場 | キッズコーナー (7 階)

料金 | 無料

※予約不要



●年間パスポート購入者限定企画 バックヤードツアー

通常は公開していない美術館の裏側をご案内します。

日時 | 2026 年 12 月 19 日 (土) 13:30-14:00

受付 | 13:15 までに総合受付前 (7 階) へお越しください

定員 | 15 名 (定員を超える場合は、その場で抽選)

参加条件 | 年間パスポート購入者 (当日購入可)



そのほかにも

手話でめぐるギャラリーツアーや、アンケート回答者を対象にミュージアムグッズなどが当たるミュージアム・ガチャ、シリーズ 3 編を通じて集めるコレクションカード企画など、さまざまな参加プログラムをご準備しています。詳細は当館 HP でお知らせします。

■アーティスト・イン・レジデンス成果展を同時開催

第 26 回福岡アジア美術館アーティスト・イン・レジデンス成果展 (仮称)

会 期 | 2026 年 9 月 19 日 (土) - 10 月 5 日 (月) 11:00-17:00 ※最終日は 15:00 まで

休館日 | 月曜日

会 場 | Artist Cafe Fukuoka

関連イベントとして、9 月 20 日 (日) にアーティスト・トークを予定しています。詳細は当館 HP でお知らせします。

■基本情報

展覧会名 アジア美術の歩き方 南アジア特別編 対立の先へ～光の水脈をめぐる旅
会 期 2026 年 9 月 19 日（土）～2027 年 1 月 11 日（月・祝）
会 場 福岡アジア美術館 7 階 企画ギャラリー・アジアギャラリー
開館時間 9:30-18:00（金・土は 20:00 まで）※入室は閉館 30 分前まで
休 館 日 水曜日（水曜が休日の場合はその翌平日）、年末年始（12/26～1/1）
観 覧 料 年間パスポート※ 一般 1,000 円／高大生 800 円／中学生以下無料

※本展は、企画ギャラリーとアジアギャラリーを一体的に構成した展覧会です。

企画ギャラリーを含む全展示をご覧いただくには、「アジア美術の歩き方」年間パスポートが必要です。年間パスポートをご購入いただくことで、本展を会期中何度でもご覧いただけるほか、現在開催中の「アジア美術の歩き方 東アジア編（2026 年 8 月 30 日まで）及び「アジア美術の歩き方 東南アジア編（2027 年 2 月 4 日～3 月 31 日）」も何度でもご覧いただけます。年間パスポートの詳細は下記枠内をご覧ください。

※次の方は観覧料が無料になります。

身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の提示者本人と介護者 1 人、
特定医療費(指定難病)受給者証・特定疾患医療受給者証・先天性血液凝固因子障害
等医療受給者証・小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者本人

年間パスポートのご案内 — 「通う楽しみ」を広げるミュージアムパス—

コレクション展「アジア美術の歩き方」全 3 シリーズを
何度でも楽しめる年間パスポートを販売中です。



販売期間 | 2027 年 1 月 11 日（月・祝）まで

販売価格 | 一般 1,000 円／高大生 800 円

販売場所 | 福岡アジア美術館 7 階 ミュージアムショップ「ロンホア」ほか

< ご利用いただける展覧会 >

東アジア編（アジアギャラリー）

2026 年 4 月 18 日～8 月 30 日 【観覧料】一般 200 円／高大生 150 円

南アジア特別編（企画・アジアギャラリー）

2026 年 9 月 19 日～2027 年 1 月 11 日 【観覧料】一般 1,000 円／高大生 800 円

東南アジア編（アジアギャラリー）

2027 年 2 月 4 日～3 月 31 日 【観覧料】一般 200 円／高大生 150 円

※会期は 8 月 29 日まで

< 主な特典 >

- ・コレクション展を会期中何度でも観覧可能
- ・オリジナルステッカープレゼント
- ・博多リバレインモール内で使用できるお得なサービス特典
※詳細は博多リバレインモール HP をご覧ください

<https://www.hakata-riverainmall.jp/ticket/asia.php#ca02>

- ・バックヤードツアー参加権（展覧会ごとに 1 回予定）

※定員を超える場合は抽選



お問い合わせ

福岡アジア美術館 運営課 下川・南／学芸課 五十嵐

TEL : 092-263-1100 / FAX : 092-263-1105

E-MAIL : faam-unei.epb@city.fukuoka.lg.jp

URL : <https://faam.city.fukuoka.lg.jp/>